

活動のあらまし

- ▶ 総理官邸や外務省へ世界連邦実現に関する政策提言を提出。
- ▶ 肉親を紛争で失ったイスラエルとパレスチナの子どもたちを日本へ招待して国際交流する中東和平プロジェクトに協力。
- ▶ 毎年、世界連邦日本大会(世界連邦推進日本協議会主催)を共催。
- ▶ 数年に一度行われる世界連邦世界大会に参加。
- ▶ 世界連邦推進全国小中学生ポスター作文コンクールを開催。
- ▶ 世界連邦Newsletterを隔月で発行。
- ▶ 世界連邦平和都市宣言の推進。

最新の国際的課題への取組み

国際社会に次のような新しい制度を導入することを目指して活動中。

グローバル連帯税...国際通貨取引などグローバルな活動に課税し、
 税収を貧困対策、環境保護などに充てるもの。

国連議員総会.....国連総会の補助機関として、選挙で選ばれた
 議員による諮問機関を創設するという構想。

核廃絶の動き.....核廃絶日本NGO連絡会に参加。ヒバクシャ国
 際署名などに協力。

..... わたしたちも応援しています



稲盛和夫 (京セラ株式会社創業者)

“EUとは世界連邦政府のひな型のようなものであり、これをさらに拡大させていくにはどうしたらよいかを、世界の為政者たちにぜひ考えてほしいと思うのです。”

出典:「人類を救う哲学」PHP研究所



梅原猛 (哲学者・国際日本文化研究センター初代所長)

“人類のめざすべきは、EUのような組織を世界各地につくり、さらにその上に世界連邦政府をつくることではないでしょうか。今後、アジアや南北アメリカで、EUを見習って地域共同体創設への動きを加速させるべきだと思います。”

出典:「人類を救う哲学」PHP研究所



千玄室 (茶道裏千家十五代家元/日本・国連親善大使)

“人と人が対立の関係ではなく、世界連邦運動協会の綱領にあるように「普遍的な人類愛」で結ばれてこそ、民族や国境を越えて真に心豊かで平和な世界が実現します。”

世界連邦ニュースレター586号



アグネス・チャン (歌手・教育学博士)

“平和は砂のようなもので、たくさん持っていたつもりでも気を抜くと指の間からサーツとこぼれ落ちてしまいます。”

世界連邦ニュースレター577号

世界連邦運動の組織 2017年7月時点

下記六団体が世界連邦推進日本協議会(会長:海部俊樹)を構成しています。

世界連邦運動協会	会長 海部俊樹
世界連邦日本国会委員会	会長 横路孝弘
世界連邦宣言自治体全国協議会	会長 山崎善也
世界連邦日本宗教委員会	会長 田中恆清
世界連邦日本仏教徒協議会	会長 叡南覚範
世界連邦文化教育推進協議会	会長 東久邇信彦

..... 世界連邦運動協会役員

会長	海部俊樹(元内閣総理大臣)
会長代行	中野寛成(元衆議院副議長)
副会長	日下部禎代子、荻野忠則、城忠彰
理事長	日下部禎代子
顧問	アグネス・チャン(歌手・教育学博士)
	稲盛和夫(京セラ株式会社創業者)
	梅原猛(哲学者)
	河野洋平(元衆議院議長)
	千玄室(裏千家家元)
	尚弘子(琉球大学名誉教授)



会長:海部俊樹

世界連邦運動に参加を

世界連邦運動協会の目的に賛同し、その事業に協力する方は、誰でも会員になることができます。入会は、住所・氏名・職業・年齢を記し、会費をそえて本部事務局もしくは最寄りの支部へお申し込み下さい。電子メールの際には、件名を「入会申し込み」とご明記ください。

世界連邦運動協会

〒107-0052東京都港区赤坂7-2-17
 赤坂中央マンション303
 TEL:03-6438-9442 FAX:03-6438-9443
 E-mail: info@wfmjapan.org

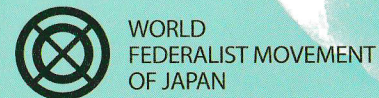


www.wfmjapan.org

世界法による世界平和を



世界連邦運動協会



世界連邦の理念

私たちは、日本国民であると同時に、世界市民であることを確認します。地球規模の問題について、国民同胞に対すると同様、世界市民としての立場から取り組みます。

それを具体化するための世界連邦思想の根源としては、普遍的な人類愛と「全体の破壊をさける」という目標は他のいかなる目標にも優位しなければならない」というアインシュタインの平和原則を尊重します。

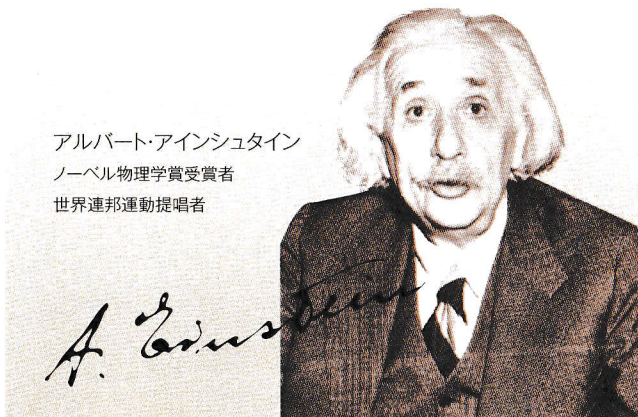
さらに、世界連邦における政策決定のあり方は、国内レベルの問題は国内で、地域レベルの問題は地域で、地球レベルの問題は地球規模で解決するという「補完性の原則」に従います。

この理念の下に、国際連合を改革・強化することにより、世界連邦を実現して、各国の軍備を完全に撤廃することをはじめ、環境保全その他の緊急の世界的諸問題に対処しなければなりません。そのため、我が国の政府と国会は、世界連邦の達成を各国にさきがけて国是とし、外交政策の基本とすべきです。

私が世界連邦を擁護するのは、いままで人間が遭遇した最も恐るべき危険を除去する方法が他にありえないからである。

全体的破滅を避けようという目標は他のいかなる目標にも優位しなければならない。

アルバート・アインシュタイン
ノーベル物理学賞受賞者
世界連邦運動提唱者



世界連邦の構想

各国の多様性と文化を尊重しつつ、地球全体で取り組まなければならない課題を『世界連邦』というグローバル・ガバナンス機構を通じて解決していきます。

- 1 武力や軍事力ではなく『世界法』によりすべての人々の生命財産を守ります。
- 2 『世界連邦議会』が、公正に法を制定します。
- 3 『世界連邦政府』が、法に則り民主的に統治します。
- 4 世界法に基づいて『世界連邦裁判所』が適正に裁判を行います。
- 5 世界の安全を脅かすテロ、核拡散、武力紛争等の事態には、『世界連邦警察』が責任を持って対処します。
- 6 EUや東アジア共同体などの地域統合を経て、世界連邦への発展をめざします。



尾崎行雄 (世界連邦建設同盟初代総裁)

「世界の廢藩置縣なくて、人類の平和はない。」



賀川豊彦 (世界連邦建設同盟初代副会長)

「人類の解放は、この世界連邦国家の道以外にない。そこで凡ての国の小さき派争が中止され、公義と親切が伝統とならねばならぬ。」



湯川秀樹 世界連邦世界協会(WFM)第五代会長
(ノーベル物理学賞受賞者)

「世界連邦は昨日の夢であり、明日の現実である。今日は明日への一歩である。」

世界連邦運動の歩み

世界連邦運動は、第二次世界大戦の直後、特に原爆という人類が払った犠牲を教訓に「二度と戦争を起こすまい。世界が一つになって平和の仕組みを創ろう」と世界中に沸き起こった声から始まりました。

1946年、世界各国が同じ志を持つ人々がスイスに集まり、世界連邦運動(WFM)を結成し、モンロー宣言(世界連邦の6原則)を定め、世界各国で活動を開始しました。

現在の世界連邦運動(WFM)は、ニューヨークに国際事務局をおき、28カ国・地域に地域団体が設立されています。また国連経済社会理事会との協議資格(国連NGO:カテゴリーII)を有し国連に対して積極的に提言しています。

近年の活動の成果

2005年(平成17年)8月2日衆議院にて「世界連邦実現への道の探究」を盛り込んだ国会決議が採択されました。(下記参照)さらに外務省総合外交政策局政策企画室が世界連邦運動との連絡窓口となりました。

国際刑事裁判所(ICC)への日本政府の加入を促進し、2007年(平成19年)10月に加盟を実現しました。

JCBLら他のNGOとともにクラスター爆弾禁止条約(オスロ条約)成立に向け協力した結果、日本も署名・受諾し、同条約は2010年10月に発効しました。

2016年(平成28年)5月25日参議院にて「世界連邦実現への道の探求」を盛り込んだ国会決議が採択されました。(下記参照)国会で世界連邦に言及した決議を得たのは日本だけです。

国会において認められた世界連邦の意義

国連創設及びわが国の終戦・被爆六十周年に当たり更なる国際平和の構築への貢献を制約する決議

(衆議院 第162回通常国会第38号決議) 平成17年8月2日

“政府は、日本国憲法の掲げる恒久平和の理念のもと、唯一の被爆国として、世界のすべての人々と手を携え、核兵器等の廃絶、あらゆる戦争の回避、世界連邦実現への道の探究など、持続可能な人類共生の未来を切り開くための最大限の努力をすべきである”(部分)

我が国の国連加盟六十周年に当たり更なる国際平和の構築への貢献を誓約する決議

(参議院 第190回通常国会第4号決議) 平成28年5月25日

“政府は、日本国憲法の掲げる恒久平和の理念のもと、国際機構の改革強化を目指しつつ、国際法の発展、核兵器廃絶など軍縮外交の推進、また人間の安全保障の実現を含む世界連邦実現への道の探求に努め、平和な未来を確実にするための最大限の努力をすべきである。”(部分)